

熱海市は、将来都市像に「住むひとが誇りを訪れるひとに感動を誰もが輝く楽園都市 熱海」を掲げ、「住んでみたい」「訪れてみたい」、そしてそんな街に「投資をしたい」という「選択される街」を目指して、シティプロモーション活動に取り組んでいます。

『熱海NEWS LETTER』は、その活動の一環として、熱海の旬な情報をお伝えするために、定期的に発行しています。

右の写真は、P3で伊豆の玄関口としてご紹介している新しく生まれ変わった熱海駅です。皆さまをお待ちしています！



LINE UP

ラインナップ

S

【特集】熱海の発展は駅にあり！熱海駅が生まれ変わりました！・・・P2～3

大正14年に開業し、90年余の歴史を刻んできた熱海駅が、約2年をかけて建て替えられ、観光地熱海としてまた伊豆半島の玄関口として新しい熱海駅に生まれ変わりました。昔の熱海駅を振り返りながら新たな駅舎・駅ビルについてご紹介します。

E

【イベント】12月～3月の主なイベントをご紹介・・・P4

- ◇日本一早咲きの梅と桜 “熱海梅園梅まつり&あたま桜 糸川桜まつり”
- ◇冬の澄んだ空気で見ると花火 “熱海海上花火大会”
- ◇地元漁師たちの自慢の一杯 “初島井合戦”
- ◇2月5日よりリニューアルオープンする “MOA美術館”

A

【熱海のココスキ!!】「熱海駅長が新たな熱海駅について語る」・・・P5

JR東日本熱海駅第41代駅長の宮原智子さんに、リニューアルした熱海駅や今後の熱海駅、熱海のココスキ!!について伺いました。



大正14年3月25日に開業した熱海駅は、平成27年3月に開業90周年を迎え、平成28年11月25日には、約2年間の改修工事により建て替えられ新しく生まれ変わりました！熱海の発展とともに歩んできた熱海駅を振り返りながら、今後も熱海の発展に大きく貢献していく新しい熱海の玄関口、駅舎・駅ビルについてご紹介します。

熱海の発展とともに歩んだ熱海駅

現在、熱海・東京間は、東海道新幹線で約50分、東海道本線でも約1時間50分の距離で、熱海駅は、東海道や伊豆地域の交通を結ぶ駅です。しかし、徳川家康に、熱海の湯を献上させる「御汲湯」が行われていた時代では、昼夜兼行で15時間走り江戸城へ献上されたなど、明治初期までの熱海への道中は、人がやっと通れるだけの山道でした。明治中期には道路整備が行われ、人力車での往復が可能になりましたが、それでも、熱海・小田原間は、5時間もかかりました。その後、車夫2~3人で客車を押して走る人車鉄道が建設され、ここに熱海の鉄道の歴史がはじまりました。



人車鉄道

熱海駅の開業

明治22年、東海道本線が新橋・神戸間で開通しましたが、当時の東海道本線は、今の御殿場線経由で急勾配のルートであり、小田原から熱海へは人車鉄道や軽便鉄道で通じていただけでした。大正14年3月25日に、国府津・熱海間を結ぶ国鉄熱海線が開通し熱海駅が誕生しました。熱海・東京間は、3時間20分に短縮され、軽便鉄道時代に比べて乗客数は20倍にも跳ね上がり、「東京の奥座敷」とうたわれ旅館・別荘が急増するとともに、伊豆の玄関口としての基盤が築かれました。



東海道新幹線の開通により日本を代表する温泉保養地へ

尊い犠牲者を出す難工事の末、昭和9年に熱海・函南間に丹那トンネルが開通し、熱海駅は、東海道本線の駅となり、昭和39年10月1日には、東京オリンピック開催に合わせて東海道新幹線が開業されました。開業以来10カ月間の新幹線各駅の1日平均乗降客数をみると、熱海駅は、8,092人で、東京、新大阪、名古屋、京都について、第5位となり、6位静岡の5,832人を大きく引き離しました。これは、熱海が戦前の「東京の奥座敷」から今や日本を代表する温泉保養地へと発展しつつあることを示すものでありました。

まさに熱海の発展は、熱海駅にあり。リニューアルした新熱海駅もさらなる発展を遂げていきます。



写真上：昭和39年頃の熱海駅前
写真右：新幹線開通時のお出迎え

熱海駅舎に駅ビル「ラスカ熱海」がオープン！

熱海駅の建て替え工事を終え、11月25日、観光地の玄関にふさわしい明るく開放感のある駅ビルがオープンしました。昭和26年に「熱海駅デパート」として開業した熱海駅ビルは、熱海の新たなランドマークともいえる駅ビル「ラスカ熱海」として生まれ変わりました。観光客の皆さんだけでなく市民の皆さんにも便利で魅力あふれる観光地の駅ビルとして36店舗が入りオープンしました。



大人気！熱海・伊豆の魅力が盛りだくさん！

温暖な気候と豊かな自然に囲まれた熱海、伊豆半島エリアの個性あふれる名産品や特産品を取り揃えています。1、2階のショップには熱海コレクション A-PLUS（熱海ブランドを集めた専門ショップ）をはじめ、地元の名産やラスカ熱海限定商品が豊富にそろい、熱海の新しい魅力を発見できます！



観光のお客様に快適な空間とサービスを提供します！

駅の開業にあわせ、駅構内美化工事を実施し、各ホームへの待合室の整備（平成27年度実施済み）や改札内コンコースの環境整備、構内店舗のリニューアルも行い、便利で使いやすい駅として生まれ変わりました。駅ビル1階には、周辺地域の総合的な観光窓口として「熱海観光案内所」が入居し、熱海をこれから観光するお客様のサポートに加え、隣接するラウンジやコーヒーショップでは待合わせや旅行プランを計画するなど、さまざまなシーンでご利用できる快適な空間も提供しています。また、駅と観光地を結ぶ2次交通として駅レンタカーが入居するほか、お土産や荷物などを運ぶ宅配サービスも揃え、観光客の皆さんの多様なニーズに対応します。



見

常春熱海を満喫!日本一早咲きの梅!
「熱海梅園梅まつり」

1月7日(土)~3月5(日) 8:30~16:00



JR来宮駅から徒歩10分という市街地にある熱海梅園は、11月18日に既に1輪の梅の開花を確認。早咲・中咲・遅咲の59種472本の梅の木が植えられているため、梅まつり期間を通して楽しんでいただけます。また、園内には足湯(10:00~16:00)も併設されており、温泉を楽しみながら梅を觀賞するのもおつまみものです。◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222

見

日本一早咲きの桜!!
「あたま桜 糸川桜まつり」

1月21日(土)~2月12日(日)

常春熱海を彩るのは、梅だけでなく、「あたま桜」。熱海市街地にある糸川遊歩道沿いでは、「あたま桜 糸川桜まつり」が開催されます。期間中の土・日・祝日には、桜茶の無料サービスが行われるほか、大道芸などの各種イベントも開催されます。さらに、期間中の17:00~23:00には、あたま桜がライトアップされるので、穏やかな光に照らされた満開のあたま桜も必見です。



◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222

見

冬の澄んだ空気で見ると花火
「熱海海上花火大会」

12月11日(日)・18日(日)

春夏秋冬、花火が楽しめる熱海。この冬も熱海湾で海上花火大会が開催されます。澄み切った空気の中で、体を寄せ合って見る花火もオススメです。



時間:20:20~20:45
◆お問合せ 熱海温泉ホテル旅館協同組合 TEL 0557-81-5141

食

地元漁師たちの自慢の一杯
「初島丼合戦」

2月4日(土)~3月12日(日)

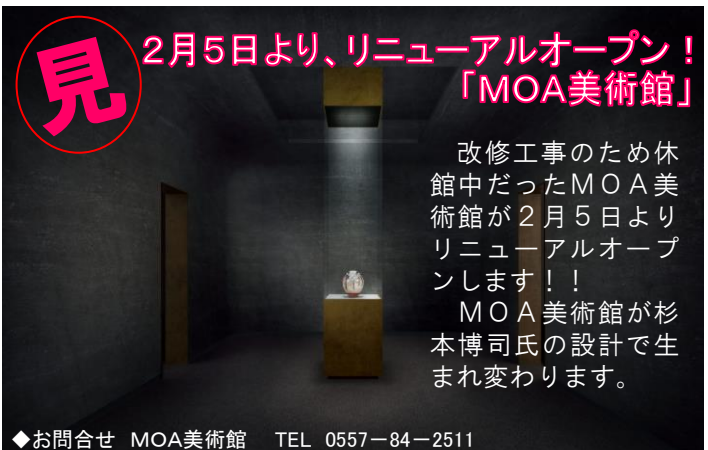
静岡県内唯一の有人島、熱海市の初島で、島内の食堂やレストランが自慢の丼飯を提供する「初島漁師の丼合戦」を開催します。漁師が初島港前で営む食堂やレストランが「参戦」。取れたての地魚を盛った海鮮丼から、イカやサザエ、アシタバなどをふんだんに使ったご当地丼までアイデア満載の丼の数々を用意しています。



◆お問合せ 初島区事業協同組合 TEL 0557-67-1400

見

2月5日より、リニューアルオープン!
「MOA美術館」



改修工事のため休館中だったMOA美術館が2月5日よりリニューアルオープンします!!
MOA美術館が杉本博司氏の設計で生まれ変わります。

◆お問合せ MOA美術館 TEL 0557-84-2511

まだまだ、ある。イベントカレンダー

- 12月 17・18日 長浜みかんフェア (長浜海浜公園)
- 1月 14・15日 網代温泉ひもの祭り (大縄公園)
15日 海辺のあたまマルシェ (熱海銀座通り)
17日 尾崎紅葉祭 (お宮の松前広場)
- 2月 12日 魚祭り (熱海魚市場)
18~20日 伊豆多賀わかめ祭り (長浜海浜公園)
28日 逍遥忌記念祭 (起雲閣)
- 3月 11日 春季熱海海上花火大会
11・12日 南熱海お宿グルメフェスタ (長浜海浜公園)
下旬~ 熱海城桜まつり (熱海城)

◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222



みやはらさとこ
宮原智子 さん

JR東日本熱海駅第41代駅長

—リニューアルしたJR東日本熱海駅の駅長、宮原智子さんにお話しを伺いました。

宮原駅長は、今年6月にJR東日本熱海駅の第41代駅長として就任し、JR横浜支社管内に3人いる女性駅長のうちの1人で、観光客で賑わう熱海駅の現場で只今、活躍しています。

—新熱海駅舎・駅ビルについて—

宮原 リニューアルした熱海駅は、まさに熱海、伊豆の玄関口として観光のお客様、地元のお客様にも利用しやすい駅となりました。オープン前から、「熱海駅はなるの？」などと気にかけてくださるお客様も多く、このたび待望の新熱海駅ができたということで大勢のお客様にご利用いただいています。おすすめの1つは、熱海駅改札前にできた大型ステンドグラスです。こちらは、熱海にゆかりが深く、フランスでも人気が高い日本画家平松礼二氏の作品「花の郷」で、熱海を象徴

する梅の花が一面に描かれており、とても華やかです。熱海駅にお越しの際は、ぜひご覧ください。

—駅長に就任してからの熱海の印象は?—

宮原 就任する前は、熱海といえば「温泉」の印象が強かったのですが、今では温泉以外の熱海の良さを1つ1つ感じています。海、山のおりなす自然やお祭りなどの行事、伝統的な芸妓さんの魅力など、就任してからは、熱海がもつ宝物を発見する毎日です。特に印象的なのは、駅前通りの商店街が非常に賑わい、活気のあるところで、ワクワクする感じや、いきいきする感じがとても好きです。熱海駅ビルラスカでもお土産物を取り揃えています。商店街の持つ良さや地元の方がおすすめする雰囲気も、駅からの道のりでお客様に味わっていただきたいです。



熱海駅改札前ステンドグラス

—今後の熱海駅について—

宮原 まずは、お客様に安全に駅を利用していただくことが第一です。そして、熱海は、伊豆の玄関口、旅の出発点として、快適に楽しくさわやかにおもてなしできるような、お帰りの際も楽しかった、また来たいと思えるような駅を目指していきます。また、前職のJR東日本横浜支社営業部では、神奈川の地酒や食、音楽をコラボさせた列車企画などにも携わりましたので、その経験を活かし熱海の地元の魅力を引き出すような試みも考えています。やはり鉄道会社ですから、駅を線路でつなぎ、熱海地区の駅ごとの魅力を紹介するものを作りたいです。多賀、網代、伊豆山、泉地区などまだまだ熱海には隠れた魅力が沢山あると思います。リピーターの方も、今度はここに行こうなど飽きない魅力づくりをご紹介できたらと思います。今回、駅ビルには素晴らしい観光案内所もできましたので、一緒にいろいろな情報発信をしていきたいと考えています。



賑わう駅前商店街

—最後に宮原駅長にとって、「熱海のココスキ!!」を教えてください。

宮原 熱海城から見下ろす熱海の景色は最高ですね。絶景です。熱海は、地形的に、海と山が程よく近接しているからこそ、あのすばらしい景色が見えるのだと思います。街を見ても海を見てもステキな場所で気に入っています。友人などが来たら是非紹介したいスポットですね。あとは、まだまだ、行けていない場所もありますので魅力的な熱海のスポットを探しにゆっくり散策してみたいと思います。



熱海城から見える熱海の景色